

協働事業をご提案ください!

豊川市では、「とよかわ市民協働推進計画」に基づき、“市民活動で築く協働のまちづくり”をめざして、**市民活動団体との協働事業**を推進しています。



「協働」とは、異なる環境にあるものや、異なる考え方を持ったものが、お互いを理解し合い、対等な立場で、共通の目的に対して協力して活動することです。

現在、市民活動団体の、柔軟性や先駆性・専門性といった特性を活かして、市民ニーズに対応した多様なサービスを提供することを期待し、協働事業の相談や提案を受けています。

◆市民活動団体からの事業提案◆



行政が単独で実施している既存事業、まだ取り組んでいない新規事業に関わらず、協働による事業実施をいつでもご提案ください。

提案にあたっては、

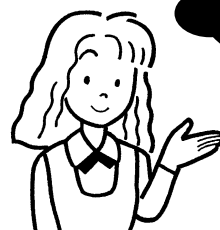
- (1) 事業名
- (2) 協働事業の目的及び効果（協働による効果も明確にする）
- (3) 協働事業の内容（実施内容、実施時期、予算など）
- (4) 実施にあたり課題になること

を盛り込んだ提案書（様式自由）を市民協働国際課にご提出ください。（※裏面提案書例を参考にしてください。）

提案を受けた事業は、市民協働国際課と関係各課で実施すべきかどうか検討します。

〔問い合わせ&提出先〕

豊川市市民部市民協働国際課
〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地
☎0533(89)2165 FAX0533(95)0010
E-mail : kyodokokusai@city.toyokawa.lg.jp



お気軽にご相談
ください。



「市民活動団体」って、どんな団体なの？

豊川市では、市民活動の要件を次のように定義し、これを継続的、組織的に行う団体を市民活動団体と呼んでいます。特に特定非営利活動法人（NPO 法人）のような法人格を持っていないボランティアグループでも、規約や会則を持って、組織的（5人以上）に活動している団体ならばOKです。

まずは、とよかわボランティア・市民活動センターに登録してね！

【市民活動の要件】

- ・市民の自主性・自発性に基づく活動であること
- ・営利を目的としない活動であること
- ・不特定多数の者の利益増進に寄与する活動であること
- ・市民に対して内容が開かれた活動であること
- ・政治活動や宗教活動を主たる目的としないこと



「協働事業」って難しそう…。具体的にはどんな事業ならいいの？

例えば、河川的环境整備や子育ての支援など、あなたの団体活動のめざすものと、行政がめざすものと同じであることが大切です。

手法は、委託に限らず、共催や実行委員会、事業の企画・立案、事業協力、情報・意見交換でも協働です。行政と一緒に取り組むことで、あなたの団体の専門性や柔軟な取り組みをより一層活かすことができ、その結果、市民サービスが充実するものを、ぜひご提案ください。

◆協働により効果があがると考えられる事業例◆

①イベントなど多くの市民参加を求める事業

〈例〉フェスティバル、シンポジウム、フォーラム

②きめ細やかで柔軟な対応が求められる事業

〈例〉子育て支援事業、高齢者・障害者支援事業、障害者の自立支援事業

③地域の実情に合わせて実施すべき事業

〈例〉まちづくりワークショップ、公園整備事業

④取り組みを通じてコミュニティの醸成が期待できる事業

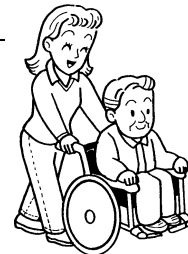
〈例〉防犯・防災・交通安全等地域安全に関する事業、多文化共生に関する事業
河川・公園等の環境整備事業

⑤市民活動団体が主体的に専門性を発揮できる事業

〈例〉自然保護・環境保全事業、人材育成事業、調査研究事業

⑥市が取り組んでこなかった事業で、市民活動団体が先駆的に実施している事業

〈例〉移送サービス、コミュニティビジネス、職業能力開発に関する事業



〔提案書例〕



提案書例ですが、様式は、特にこれにこだわりません。

事業名		エコキャンプ事業		
団体概要	団体名	〇〇〇リサイクルネットワーク (△年△月発足)		
	代表者名	豊川 太郎		
	連絡先	〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地 TEL0533-89-2111 FAX0533-89-2125 E-mail: kyodokokusai@city.toyokawa.***.jp		
	活動内容	牛乳パックからトイレトペーパーを作るなどのリサイクル活動を通して、自然環境との共存について意識啓発を行う (会則・名簿・前年度事業報告添付)		
事業内容	目的及び協働の効果	エコキャンプやリサイクル活動で得たノウハウや専門知識を活かして、自然に触れ合いながら環境への理解を深める事業を実施。		
	実施内容	市内の小学3年生～6年生の20名程度を対象に、××市の「△△の森」(地図・施設パンフレット等添付)で1泊2日のキャンプを行い、スローライフ(食住を自らで行う。)を体験することで、環境への理解を深める。キャンプ終了後に、キャンプで学んだことをグループごとにまとめ、報告する。		
	実施時期	〇〇年7月～8月(夏休み期間を活用) ・オリエンテーション 1回 ・キャンプ 1泊2日 ・グループワーク 1回		
	役割分担	行政	広報活動、施設予約、安全管理、必要資材の提供 当日のスケジュール管理・運営、交通手段の確保	
		市民活動団体	プログラムの企画・運営、スタッフ	
	予算	〔歳入〕		
区分		金額(円)	備考	
	参加費	40,000	参加者実費負担 @2,000×20名(食費等)	
	委託料	30,000	プログラムの企画運営	
	合計	70,000		
	〔歳出〕			
	区分	金額(円)	備考	
	食料費	25,000	@1,000×(20名+スタッフ5名)	
	施設使用料	15,000	@600×25名	
	保険加入料	10,000	@400×25名	
	消耗品費	5,000		
	運営費	15,000	スタッフ人件費等	
	合計	70,000		
課題	キャンプ中の子どもの安全管理			

〔提案書様式〕

事業名				
団体概要	団体名			
	代表者名			
	連絡先	〒 - TEL FAX E-mail :		
	活動内容			
事業内容	目的及び協働の効果			
	実施内容			
	実施時期			
	役割分担	行政		
		市民活動団体		
	予算	〔歳入〕		
区分		金額(円)	備考	
	合計			
	〔歳出〕			
	区分	金額(円)	備考	
	合計			
課題				